

## Part III 就職と進学

### —大学はでたけれど—

ここでは特集の三番目として一期生の進路状況をとりあげてみた。三年生以下の諸君にとっては現実的な「飯の問題」として特に来年または数年後の就職のことが気がりではあるまいか。編集部ではそうした関心に応えるべく、一期生の進路状況—就職と進学について多角的に報告しようと企画した。方針としては集めうる限りの情報を読者に提供するように努めた。特に就職に関しては、昨今の不況による新卒採用の引き締めに加えて、新設学部ゆえに卒業生のつてや学部の社会的知名度には全く期待できないという相当不利な状況から出発した。さらに就職の良し悪しで学部の評価を決めてしまう世間への現実的配慮のためにも、総合科学部が初めて体験するこの就職はきわめて重要な意味をもっていた。しかしそうした幾多の障害を越えて、一期生は当初懸念された以上の成果をもたらしたと報告されている。くわしくは以下の記事を読んでほしい。この特集が三年生以下の諸君の何らかの参考になればと思う。なお進学について、大学院入試の多くは一月中旬以降に行なわれるため調査段階では具体的な進学先を明らかにすることはできなかった。

### 1 今年度の就職状況 —12月7日就職ガイダンスから—

総合科学部第一期生の就職状況は、結論を先に言うなら、当初心配していたより大変順調に進んでおり、今日現在就職希望者の86%が決っている。一期生の努力は、君達後輩にきわめて明るい展望を残してくれたといえる。もちろん不況の波は我が学部に対しても例外ではなく、知名度がなく正体もはっきりしないこともあって、当初の学部宛求人件数は微々たるものであった。しかし、学部からの猛烈な働きかけが効を奏して、学生は希望した企業にほとんど受験することができた。新設学部としての不利はある程度克服できたことと思う。

業種別では、公務員は、惜しくも国家公務員上級職を逃したが、県や市の地方公務員に全体の15%が合格した。総合科学部の広い適応性を生かせる職業であろう。公務員の採用試験はたとえば国家上級職では、5月受付、7・8月試験であるので年が明けてすぐあるものと考えてよい。公務員試験は確かに難しいが、民間企業と違って出題形式がほぼ決っているのだから、準備しただけの効果が現われる。準備は早いほどよい。

学生諸君の最も希望の多い業種はマスコミ関係であった。しかしこの世界ほど独特の選抜をする所はなく、採用数も少ないので、そう甘くはない。今年総科より合格できたのは2人だけであった。マスコミをめざしている諸君は、早くからその独特な試験問題をこなし、特に文章の表現力を身につけてほしい。そうでなければ、在学中にグループでマスコミ

藤原健蔵（就職委員会委員長）

ミの試験勉強をやっている東京の私大の学生に太刀打ちできるものではない。

女子について言えば、状況はたいへん厳しい。教員は女子の職業として比較的安定し待遇も良い。勉強しだいで決して難関を突破できぬものではない。企業を希望している女子学生は、なにか得意とする技能（外国語やプログラミング）を身につけておく必要がある。情報コースの学生のくせに、「計算機は苦手です」と逃げた者がいたが、もってのほかである。結婚までの職業といった「腰掛け意識」をちらつかせては企業は敬遠する。

少し現実的な話になるが、最初の書類審査では成績、ありていにいえば「優」の数がやはりものをいう。「優」をそろえた者ほど強い。学生を厳しく鍛えようとして、BからCに辛くする先生もいるらしいが、それ位なら思い切ってDをやって落した方がよい。恩情のあまりDをCにつけるのは特によくない。

10月からの会社訪問は今年は特に激烈であった。この会社訪問での簡単な応対によって、相当に話が進むこともあるので、中途半端な態度で訪問してはいけない。面接では、総科の学生はおとなしすぎるという批評がある。個人的性格もあろうが、総科自体の学問的曖昧さと教育体制の欠陥も原因していると反省させられる。会社側は、この国内唯一の学部について「いったい何ぞや」「何を勉強したのか」と必ず尋ねてくるから、学生は自信をもって答えら

れるよう、日頃の勉学に励んでほしい。少しあつかましいほどに自分を売りこみなさい。

最後に一言、総科では「教官のコネで就職させてくれる。」との話があったそうだが、とんでもないあまい考えだ。就職委員会をはじめ、学部ができることは、諸君が希望する企業へ受験できるよう斡旋

することであり、その先は諸君の力次第である。最後に頼りになるのは自分の実力でしかないことを銘記してほしい。特に総科のように、卒業生のいない新設学部の学生はなおさらである。来年もまた厳しい就職難が続くであろうが、奮闘を期待したい。

## 2 資料（就職委員会提出）

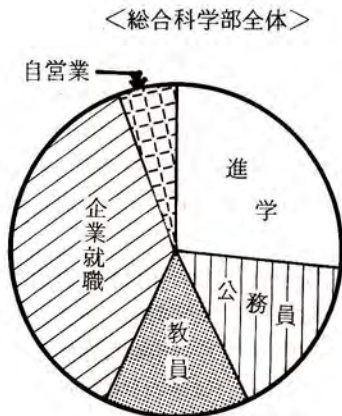
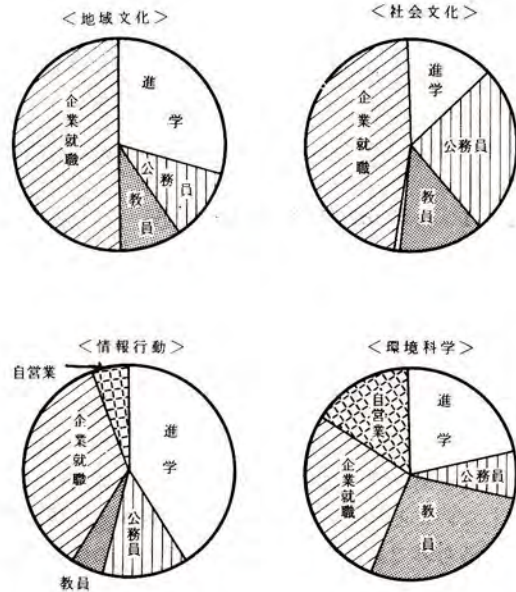
1月末現在の調査

- 49年度生在籍者数 101人
- 卒業予定者数 78人
- うち進学希望者数 20人
- 就職希望者数 58人

	地域文化	社会文化	情報行動	環境科学	計
進学希望	6	3	8	3	20
就職希望	15	19	13	11	58
公務員*	2	5	3	1	11
教員*	2	3	1	4	10
企業就職者	10	10	6	4	30
自営業	0	0	1	2	3
未定	1	1	2	0	4
計	21	22	21	14	78

<総合科学部全体>

注：\*は名簿登載者数  
就職率 93.1%



### 民間企業名

地域文化	社会文化	情報行動科学	環境科学
ぎようせい	大塚グループ	日本ユニパック	熊本日日新聞
中外製薬	〃	シャープ	山崎製パン
竹中工務店	〃	日本電気	鹿島建設
シャープ	いづみ	いづみ	日本特殊塗料
東京芝浦電気	尾崎商事	福武書店	
不二家	群馬銀行	日立青梅電子	
ピアス	三和実業	工業所	
大垣共立銀行	丸善		
毎日放送	アマダ		
西武百貨店	川崎汽船		

進路を決める当事者である学生側からの生の声をさぐるために、編集部では就職および進学を予定している一期生に対しアンケートを実施した。より多くの回答を得るため、自由形式の寄稿を避けそれぞれの質問事項に答えてもらうというアンケート形式をとった。以下寄せられた回答を原文のまますべて掲げる。忙しい折回答を寄せてくれた四年生のみなさんには感謝したい。

### 3 アンケート < 就職予定 >

#### 質問事項

・名前(匿名可) ・コースおよび専攻

- (1)どこに就職する予定ですか。
- (2)就職する地の都道府県名。
- (3)どうしてその職業(企業)を選んだのですか。
- (4)それはほぼ自分の希望通りの就職ですか。
- (5)総合科学部出身という経歴は、あなたの就職に何らかの影響があったと思いますか。あったとすればどのように？
- (6)大学での勉強の成果はその職業でどのように生かされると思いますか。
- (7)就職のために勉強を特にしましたか。したとすれば、いつ頃からどのような勉強を？
- (8)会社訪問、採用試験の際のエピソードを。
- (9)今年の就職状況全般についての感想を。また特に就職についてアドバイスすることはありますか。

#### 地域文化コース

幾留 修 (英米研究)

- (1)鹿児島市役所
- (2)鹿児島県鹿児島市
- (3)故郷に帰ることがあったから
- (4)はい
- (5)ない
- (6)いまのところ予想つかない
- (7)問題集を一、二冊買ってやった
- (8)総合科学部の社会、世間での認識が全くなかったので、総合科学部に対する質問が大きなウエイトを占めた。
- (9)特に言うことないが、自分の希望通りのところへ行けたらいいですね。

民谷 昌弘 (英米研究)

- (1)不二家
- (2)東京都
- (3)積極的に第一志望として選んだ訳ではなく、最終的に不二家に決まったからというのが正しい理由だと思います。唯、食品関係の企業という大まかな志望に入ったから選んだとも言えます。
- (4)全面的ではありませんが、現時点ではほぼ希望通りに近いのではないかと思います。

- (5)総合科学部がどのような学部であるかという認識が企業側になかったためと、指定校に含まれていないという点で大きなハンディとなったと思います。
- (6)大学における専攻が直接生かされる事は、まずないと思います。しいて言えば英語ぐらいだと思いますが、ただ学部の一期生という立場での大学における生活はなんらかの形で生かされると思います。
- (7)10月の中旬から2週間程度。一般教養の問題集と社会学の概説書。
- (8)会社訪問のついでに京都の八坂神社でひいたおみくじが凶でした。あまりあの時期におみくじなどひくものではないですよ。
- (9)総合科学部生にとっては、やはり厳しい状況だったのではないかと思います。大体の企業が求人数を減らしているのが当然なのかもしれませんが、10月の会社説明会の時期は体力の勝負だと思うので、勉強より体を鍛えておくことですね。

Y・H (比較文化)

- (1)ピアス(化粧品など)
- (2)大阪府大阪市
- (3)自分の持つ性格と扱う商品内容が合い、また創造性がいかされると思うし、希望就職地大阪であったから。
- (4) Yes
- (5)会社側が全く総合科学部に対する知識がないため不利な点が多い。例えば科学部の科学ということで理系だと判断され「なにしにきたのかね」といわれることもあった。他の学部みたいに○○○学部⇨○○○という公式がないため、敬遠されがちであった。
- (6)一期生は、はっきり言って敗者である。その負け犬根性克服のための根性、粘り、などの精神面で得たものが役立つであろうが、勉強の成果が生かされることは、まずないであろう。
- (7)試験の2週間程前からペーパーテスト用の勉強をした。
- (8)「総合科学部とは何ですか。」「そんな学部があったのですか。」

運動部出身は強い。

- (9) (状況は) きびしい、準備を早くからたくさんすること、中四国以外では、広大特に総科は、私立並にしか扱われない。

#### 社会文化コース

杉田 光雄 技術史専攻

- (1) 専売公社・中国地区  
(2) 勤務先はまだわからん  
(3) 11月1日に受ける試験がなく、たまたま。  
(4) できすぎです。  
(5) 教養試験はよくできた。  
(6) 全然わからん  
(7) 別にしなかった。三年の時から公務員試験は受けて実践で覚える。  
(8) 東京のある会社で、偶然、高校の同級生と対面。ニヤリと笑って「コネか？」  
(9) 結局運とは思いますが、今年の総科は初めてのせいもあって運動が遅かった。就職指導は3年の内に具体的にしておくべき。10月解禁前に内定するのはよくあるケース。夏休みは就職旅行をすべきだ。動いたあとは、悔いなし。

森 啓二郎 Ⅰ群

- (1) 株式会社アマダ  
(2) 神奈川県伊勢原市  
(3) 先生のすすめ  
(4) 希望した企業にはおちたため  
(5) どの企業に行っても、総合科学部の説明を求められ、不況時にあっては新設学部が不利であることを痛切に感じた。  
(6) 長い間には役立つだろう。  
(7) なるべく早く企業を選んで、会社の試験内容を早めに把握すること。  
(8) 総合科学部ということで絶対的な不利がある。会社訪問で強く感じたことは、学生の知的レベルよりも、人間味特に素直さが大事である。  
(9) 就職運動に早めにとりかかること。

#### 情報行動科学コース

浅野 哲史 心理専攻

- (1) 教職(広島、岡山のいずれか高校数学)に奉職する予定であるが、未定である。  
(2) 広島・岡山県  
(3) 色々、アタックしてみたが、それしか残らなかつ

たという現状である、がしかし、教職も選ぶことが出来たということも言える。

- (4) 一つの目標として、合格できました。  
(5) 採用側でないの、わからない。  
(6) 実際、職に就いてみないとわからないけれども、出来るだけ生かしたいとは思っている。  
(7) 教職→採用試験の前一ヶ月間、教職用の問題集、一般会社→一般・教養問題、マスコミ→夏季休暇より採用試験まで、国家上級(数学職)→S52年、年初から7月3日まで。  
(8) エピソードと言えば、すべてがエピソードだった。オチクられたり、オチクったりの採用試験だった。  
(9) こと就職に関しては「終わりよければすべてよし」であることを銘記せよ。いつの場合でも勝てば官軍なのである。しかし寄らば大樹の蔭では男としておもしろくないものである。

#### マンモス 人間行動研究

- (1) 野田ワックスⅡ  
(2) 神奈川県厚木市  
(3) そこに山があるからでしょう。めずらしく女性差別もしない会社であること。(P. R, その1)  
(4) それはこれからです。わかりますか? 本当は結婚式場へ就職したかった。  
(5) 仕事には集中講義はないでしょうね! とにかく自分で創っていくことの苦労とよろこびは私にすくなからず自信を与えてくれた。そして一人で生きていくつらさとバカバカしさも。この学部に入学した時から、いいにつけ悪いにつけ、今堀先生の影響を受けてきたわけだが、それからのがれることよりもそこを原点にして生きていきたい。もう一度、先生とけんかをしてみたかったのだが。  
(6) 大学でのお遊びの悪い成果が出ないといいのだがとただ祈るのみ。——まったく授業に出ずにすごした4年間がいったいあとの40年にどんな成果をもたらすのやら。ところで1・2年で心理学をめざそうとする後輩のみなさん、メインは社会科学哲学、生物学をやり、ほんのお遊びとして、心理学をやりなさい。そして人間のことを知ろうとするなら、あなたのまわりの恋人でも友達でも、おっさんでもいい、その人と深くかかわりなさい。そのことを通して、人の「心」を識って下さい。  
(7) 卒論の勉強さえしないで、卒業しそうです。自分の一生の展望を意識したのは、3年のはじめ